



令和5年4月17日

陽光台小学校西側道路の交通状況に関する陳情

1. 陳情の趣旨

当方、陽光台地区3丁目6番地に居住しております。

居住地は当該地区の陽光台小学校西側道路に接しており、3年ほど前より日々生活道路として使用しております。

当初より、当該道路は小学校の通学路としても使用され制限速度が30 km/hに制限されているにも係わらず、速度を超過する車が行き来していることに憂慮しておりました。

先日、私自身が車通勤を始めたため、その危険性について日々身を持って感じることとなり、大事故が発生する前に当該道路について改善をして頂きたい所存であります。

2. 陳情の理由

当該道路について

下部図1の赤色の線を引いた陽光台小学校西側の道路（スクールゾーン 30）になります。また特に危険であると危惧しているのが紫色の線で囲んだ三叉路のある交差点部分です。ここは私の居住地でもあります（後述）。



図1

当該道路は幅約6mと狭く、分離された歩道もない生活道路です。

また、当該道路はどんぐり通りからみらい通りに抜ける抜け道として使用されていると考えます。理由は、市民センター前の交差点は特に朝方に横断歩行者が多く赤信号の時間が長いので、交差点での赤信号待ちを回避していると推察できます。そのため、車もスピードを出し気味になっていると考えられます。



図 2

○危険性について

当該道路は小学生の通学路となっており、特に朝7:30~7:50は集団登校にて数十名の小学生がみらい通りから陽光台小学校の南側の門まで、当該道路を北進し右側一列にて登校しております。

当該道路を通行する方が全員道路交通法規を遵守し、且つ交通マナーを守っていれば事故が発生する可能性は非常に低いと考えます。しかし残念ながら一部の方々には守れておらず、そのため、私を含む周辺住人が慎重に車を運転しても最悪の場合集団登校の列に車が突っ込むような事故が発生する可能性が高いと危惧しております。

以下その可能性について記します。

・みらい通りから北進してくる車について

北進方向に進む車は当該道路右側の集団登校の列からは距離があり、また当該道路左側はアパート、住宅や路地が多いため左側からの人や車の出入りを警戒しスピードはそれほど出しておらず、また図1の紫色の線で囲んだ三叉路では左側へ緩いブラインドコーナーになっており視界が悪く減速する傾向にあり、大きな問題にはならないと考えています(下

記写真1)。



写真1

・南進する車について

北側道路から当該道路に入ると左側は小学校の敷地であり、ここから三叉路までの区間は集団登校の小学生はおらず（北側道路側から登校する生徒は北側の門から入り、南側の生徒は三叉路から南側の門から入るため）また、道路左側は小学校のフェンスと職員用通用門しかありません。特に朝は職員用通用門から出てくる車もないため、左側を警戒せず、歩行者が少ない場合はかなりのスピードを出している車が見受けられます（感覚的に 50～60 km/h）。

南進する車はそのまま三叉路に向かいますが、下記写真2の通り右側が緩いブラインドコーナーになっているため視界が良くありません。



写真2

もう少し三叉路へ進むと、次の写真3の通りの視界となります。このとき、右側住宅よ

り車が出てくる場合（私の車ですが）、なるべくコンパクトに曲がっても当該道路中央まで車体が出てしまいます（別添参考資料を参照してください）。



写真3

上記写真3にもし集団登校の列が居た場合（下記写真4）、当然南進する車の運転手は道路の左側より中央に寄るでしょう。その時に60 km/hの速度が出ていて、右側の視界が空けたときに私の車が道路に出てきていた場合、どうなりますでしょうか？



写真4

下記写真5は私の敷地の私道から三叉路側を撮影した写真です。
この通り視界が悪く、車の運転席から目視できる地点（写真3を撮影したあたり、別添参考資料参照）までは20m程しかなく、もし南進してくる車が時速60km/hの速度であれば、お互いの車に気づいてから僅か1.2秒で衝突する可能性があります。私が警戒しながら当該道路に車を出すときも、右側を確認した直後に左側を見ると、もう南進してきた車が迫っている場合が多々あります。



写真5

考えられる事故事象で一番被害が少ないパターンは南進車の急ブレーキのみで私の車に衝突するパターンです。車が壊れて運転手が怪我をするだけで済みます。

しかしハンドルを切ってしまったり、一瞬でもブレーキが遅れた場合は衝突後のお互いの車がどこに飛ばされるか予想ができません。

○対策について

当該文書では集団登校中の平日の朝が最も事故の可能性と危険性が高いとの考えから例示しましたが、休日・夜間でも状況は同じく当該道路を南進してくる車の速度は速い傾向にあります。

北進する車の側からは、三叉路の小学校側に看板がありますが（写真5中央の黄色い看板）、南進側にはありません。また、私自身はこのような意識付けに頼る注意看板はあまり意味がないと考えており、物理的な改善を望みます。具体的には

- ・30 km/h 以上の速度では不快になる段差、凹凸を道路に設ける
- ・カーブミラーを設置する
- ・目の錯覚を利用した路面標識（イメージハンプ）を施す

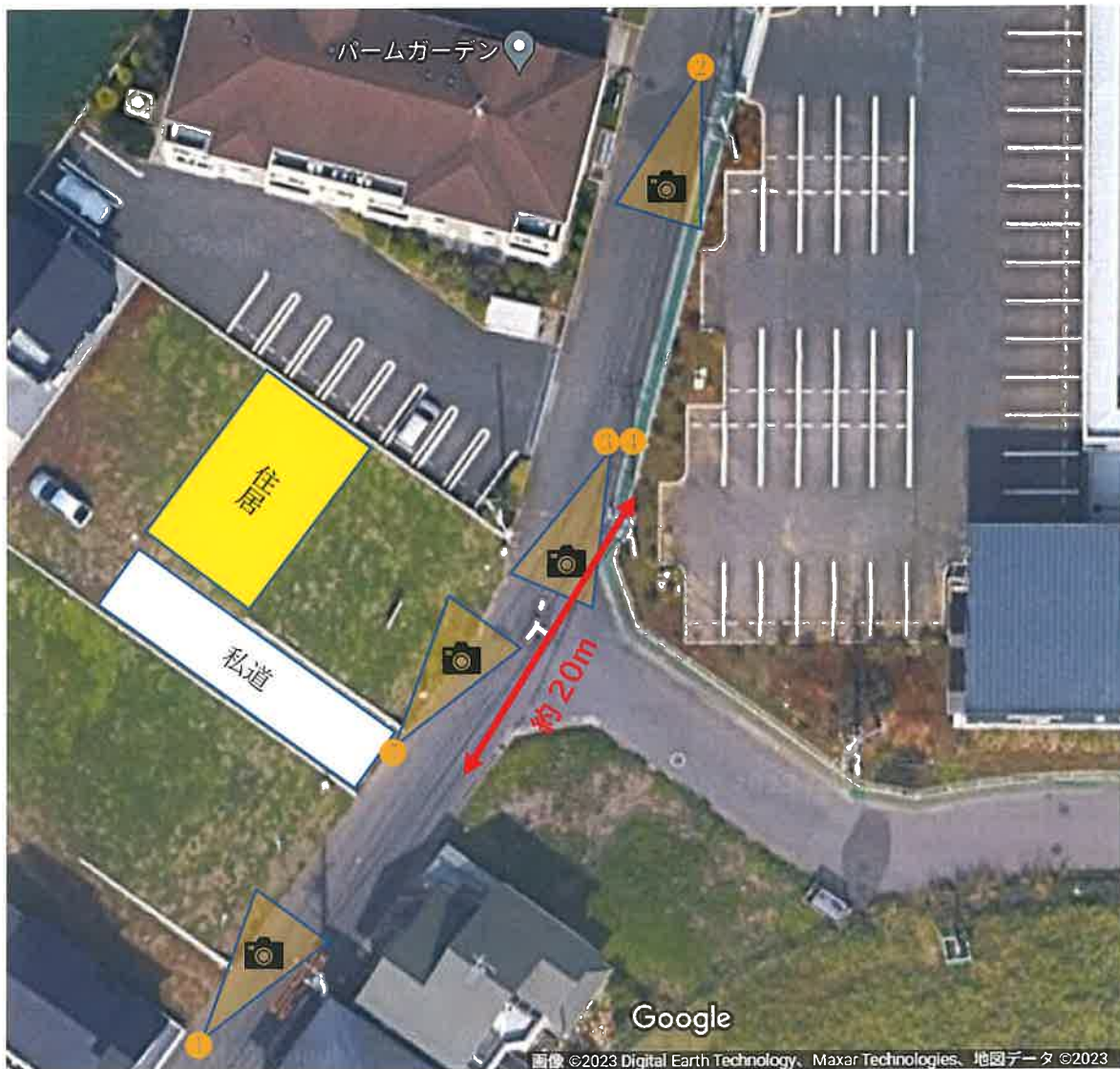
他に良い案があればお願いいたします。

上記の通りなるべく速やかな改善対応をお願いしたく、陳情いたします。

つくばみらい市議会議員 伊藤正実 様

参考資料

当該道路、地域の航空写真（Google Map より）



- ・黄色の住居：居住地（自宅）
 - ・私道：当該道路へ繋がる私道、ここから右折、左折する際に危険を感じる
 - ・カメラと番号：それぞれの写真を撮影した地点（丸番号）と画角
- イメージハンプ（写真出典：積水樹脂）

